



令和5年度農林水産業施策の基本方向

東日本大震災・原子力災害からの復興の加速化

【生産基盤の復旧と被災した農林漁業者への支援】

- 被災した農地、農業用施設、漁場、林道、海岸防災林、共同利用施設等の復旧を進めます。
- 個人や共同利用の施設、機械、漁船等の整備を進めるとともに、ほ場整備と一体的な農地集積など、農林水産業の面的再開を推進します。
- 農業用ダム・ため池等の放射性物質対策を進めるとともに、次世代のきのこ原木林等の整備を関係機関と連携して強力に推進します。

【避難地域等における農林水産業の復興の加速化】

- ICT等の農林水産業の先端技術の開発・実証、現場への普及を進めます。
- 被災12市町村等において、農業への企業参入を促進するとともに、農地中間管理機構のコーディネーター配置等により担い手への農地集積を加速します。
- 生産、加工等が一体となった高付加価値生産等を広域的に展開する産地の創出を支援し、営農再開を加速します。
- 水産資源を管理しながら少ない労力で高収益をあげる「ふくしま型漁業」の実現に向けた取組を推進します。

【風評の払拭】

- 効果的な情報発信、県産農林水産物の販路拡大の取組に加え、新品種の開発や機能性、おいしさ等の追求によるブランド力の向上や安定した産地の供給体制の整備などにより、風評を要因とした価格水準低下の固定化を打破するため、福島県農林水産物ブランド力強化推進方針に基づき、「福島ならではの」ブランド確立を進めます。
- 輸入停止や輸入規制措置を課している国・地域に対して安全確保の取組や魅力等を発信します。



農業用ため池等の放射性物質対策



被災地域における先端技術の実証



トップセールスによる販売促進

需要を創出する流通・販売戦略の実践

【安全と信頼の確保】

- モニタリング等による安全確保に取り組むとともに、県内外の消費者、流通関係者に「伝わる」わかりやすい情報発信を行います。
- G A Pの認証取得拡大を進めるとともに、G A Pへの消費者や流通関係者の認知度向上を図り、県産農林水産物への信頼を高めます。

【戦略的なブランディング、消費拡大と販路開拓】

- 市場調査等に基づいて市場のニーズを的確に把握し、生産から消費に至る取組の連携強化を図りながら県産農林水産物の高付加価値化・生産力強化を進めるとともに、これらの取組をタイムリーかつSNSをはじめとした様々な媒体を活用した戦略的な情報発信を行うことで「福島ならではの」ブランド力の強化を図ります。
- 県産花きの地域内利用を促進するとともに、オリジナル品種への改植及び新植を推進します。
- 旬を捉えた量販店におけるフェアやオンラインストアによる販売促進等により、多様な販路の確保・拡大につなげます。
- 大手量販店等での県産水産物の常設棚設置や、県産水産物のブランド力強化や流通拡大を図る実証への支援等により、県産水産物の競争力を強化します。



農林水産部公式
YouTubeチャンネル



量販店に常設棚設置
「福島鮮魚便」

戦略的な生産活動の展開

【生産力の強化】

- 主食用米から大豆・麦・そばや非主食用米等へ転換を強力に進め、水田をフルに活用した水田農業経営の安定化を図ります。
- 大豆・麦・そばの生産モデルの構築と作付け拡大を図ります。
- 作付けモデルの実証や作付面積拡大への助成により自給飼料の増産を図ります。
- ロボット・AI・ICT等の先端技術を活用したスマート農業や革新技術の導入により、生産性向上による産地の生産力・競争力強化を図ります。
- 環境保全型農業の新規取組者の確保や取組拡大を目的に、技術指導や優良技術の表彰、地域ぐるみの取組の支援等に取り組めます。
- 飼料価格の上昇により大きな影響を受けている畜産経営の安定化を図るため、飼料価格上昇分の一部を補助します。

【競争力の強化】

- 県オリジナル水稻品種を中心とした多様な米づくりを進めます。
- 有機農業の取組拡大と有機農産物への理解促進、供給体制を支援します。
- 担い手育成・販売額向上等の地域のモデルとなる園芸生産拠点の育成を支援します。
- 県育成いちご「ゆうやけベリー」生産拡大・PR等を一貫して実施します。
- AIを活用した肉質評価システムを整備するとともに優良素牛の導入を支援し、「福島牛」のブランド力を強化します。



大豆栽培の団地化



園芸生産拠点
のイメージ

多様な担い手の確保・育成

【農業担い手の確保・育成】

- ワンストップ・ワンフロアの支援窓口の開設、就農支援情報の発信や就農コーディネーターの配置等により受入体制を整備など、新たな担い手となる新規就農者の確保・育成を図ります。また、有機農業に特化した就農支援体制を整備します。
- 地域農業の目指すべき将来の姿を描く「地域計画」の作成とその実現に向けた取組を支援します。
- アグリカレッジ福島（農業短期大学）の統合施設の整備や機能強化を進めます。
- 福島大学と連携し、地域の課題解決を図ります。

【林業担い手の確保・育成】

- 林業研修拠点「林業アカデミーふくしま」において、地域林業の核となる担い手の育成や次代を担う新規林業事業者の確保・育成を行います。

【漁業担い手の確保・育成】

- 漁業の新規就業に必要な漁船・漁具の導入等を支援します。



農業短期大学校整備
イメージ図



林業アカデミーふくしま
長期研修状況

活力と魅力ある農山漁村の創生

【農林水産業・農山漁村が有する多面的機能の維持・発揮と県民への理解促進】

- 地域ぐるみで取り組む農地の保全管理等の活動への支援や森林整備の推進など、農林水産業・農山漁村が有する多面的機能の維持・発揮に資する取組を進めます。
- 地域農業の将来ビジョンづくり及び地域内外の住民による交流等を通じた地域農業の活性化に資する取組を支援します。
- 農山漁村、森林の多面的機能や地域資源についての情報発信を行うとともに、本県独自の植樹祭の開催等により、農山漁村への理解を促進します。

【快適で安全な農山漁村づくり】

- 鳥獣被害軽減のための地域ぐるみでの総合的な対策や、専門職員の確保・育成などの取組を支援します。
- 防災重点農業用ため池の改修工事や劣化状況評価等の調査を進め、住民の安全確保を図ります。
- 山崩れ、地すべりなど山地に起因する災害から県民の生命・財産を保護する治山施設の整備を推進します。

【地域資源を活用した取組の促進】

- 「ふくしま満天堂」の取組を通じた販路拡大や意欲ある人材の育成、地域ぐるみの商品開発など、豊かな農林水産資源を活用した地域産業6次化を推進します。



鳥獣被害対策の
専門職員の活動



「ふくしま満天堂」
グランプリ表彰式

生産基盤の確保・整備と試験研究の推進

【生産基盤の整備】

- ほ場の大区画化・汎用化と担い手への農地の利用集積を進め、経営規模の拡大を図ります。
- 農業水利施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図る戦略的な保全管理を進めます。
- 航空レーザー計測により地形情報と森林情報を取得し、森林整備の基盤施設である林業専用道等の市町村による路網整備計画の策定を支援します。

【戦略的な新品種・新技術の開発】

- 「福島ならではの」の価値向上に資するオリジナル品種や、県産農林水産物の旨みや機能性が見える化技術の開発など、本県農林水産業の生産力・競争力強化のための研究開発を進めます。
- 本県農業・林業・水産業の復興に寄与するICT等の先端技術の開発や実証研究を実施します。



大区画ほ場整備



3Dスキャナ搭載ドローンとAIを活用した森林資源利用システム

食料安全保障の強化（海外に依存している食料や生産資材への対応）

- 海外からの輸入に依存している大豆・麦・そば及び飼料作物の生産性向上・生産拡大の取組を支援します。



令和5年度農林水産部の主な事業

令和5年4月1日
農林水産部

◎ 令和5年度当初予算については、福島県農林水産業振興計画における6つの「施策の展開方向」を柱に、食料安全保障を強化し編成

東日本大震災・原子力災害からの復興の加速化 生産基盤の復旧や被災農林漁業者の支援、復興の加速化、風評の払拭

【（新）水産業復興加速化総合対策事業（1,000,271千円）】
水産業の好循環サイクルが力強く機能するための総合的な対策を実施

【福島県高付加価値産地展開支援事業（3,463,750千円）】
営農再開加速化に向け、広域的に生産、加工等が一体となった高付加価値生産等を展開する産地の創出を支援

【ふくしま復興農地利用集積対策事業（123,303千円）】
被災12市町村において、地域の担い手や参入企業等への農地の集積・集約化を促進

【（一部新）ふくしまプライド農林水産物販売力強化事業（1,602,036千円）】（再掲）

【復興基盤総合整備事業 他（12,424,381千円）】
津波により被災した地域及び被災12市町村において、大区画ほ場の整備など、農地・農業用施設等を整備

【広葉樹林再生事業（1,007,850千円）】
きのこ原木林等において、次世代への更新に必要な伐採や植栽、作業道の整備及び放射性物質の影響を調査

多様な担い手の確保・育成 農林水産業の担い手の確保・育成、経営の安定・強化

【（新）福島大学と連携した地域農業モデル創出事業（8,021千円）】
持続可能な地域農業モデル創出のため、担い手への技術継承や農地等の維持管理作業の負担軽減対策を構築

【（新）福島県農業経営・就農支援センター運営事業（59,799千円）】
ワンストップ・ワンフロアによる就農・定着から経営発展まで一貫した支援を実施

【（新）地域計画策定推進緊急対策事業（121,879千円）】
地域の農業の在り方や農地利用の姿を明確化した「地域計画」の策定に必要な取組を支援

【（新）林業アカデミーふくしま運営事業（101,118千円）】
森林再生や林業・木材産業の成長産業化の実現に必要な林業人材育成のための研修を実施

【農業短期大学校施設統合整備事業（1,038,464千円）】
農業短期大学校（アグリカレッジ福島）の機能強化のための統合施設を整備

【福島県次世代漁業人材育成確保支援事業（318,146千円）】
漁業の新規就業に必要な漁船・漁具の導入等を支援

生産基盤の確保・整備と試験研究の推進 農地集積・集約化の推進、農林水産業の生産基盤の整備、戦略的な品種・技術の開発

【福島イノベ構想に基づく農業先端技術展開事業（47,883千円）】

【福島イノベ構想に基づく林業先端技術展開事業（1,669千円）】

【福島イノベ構想に基づく水産業先端技術展開事業（76,263千円）】
本県農業・林業・水産業の復興に寄与するICT等の先端技術の開発や実証研究を実施

【福島県産農産物競争力強化事業（研究）（110,908千円）】
市場ニーズに応じた魅力ある県オリジナル品種や県産農産物の旨みや機能性の見える化などの技術開発を実施

【経営体育成基盤整備事業 他（2,515,805千円）】
農業競争力の強化を進めるため、農地の大区画化・汎用化等の基盤整備を実施

【かんがい排水事業 他（3,883,307千円）】
農業農村施設の安定的な機能の維持・確保のため、計画的な維持管理及び長寿命化対策を実施

【森林情報活用路網整備推進事業（79,538千円）】
航空レーザ計測により高精度の地形情報等を取得し、計測データを活用し林内路網計画の策定支援

食料安全保障の強化（海外に依存している食料や生産資材への対応） 本県のポテンシャルを活かした供給量拡大・収益力向上による経営の安定化

【（新）ふくしまならではの畑作物産地づくり推進事業（86,694千円）】（再掲）

【（新）ふくしまならではの自給飼料増産推進事業（54,387千円）】（再掲）

需要を創出する流通・販売戦略の実践 農林水産物の安全と信頼の確保、戦略的なブランディング、消費拡大と販路開拓

【（新）福島ならではの農林水産物ブランド力強化推進事業（15,614千円）】
ブランド力強化を図るため、県産農林水産物の市場調査や消費者動向調査などの緻密な調査を実施

【（一部新）農林水産業情報発信強化事業（4,672千円）】
生産者の思い・創意工夫、おいしさや新たな価値など、福島ならではの魅力を職員自ら取材し、発信

【（一部新）ふくしまプライド農林水産物販売力強化事業（1,602,036千円）】
「福島ならではの」の強みを活かしたブランド化や販売網の確保、情報発信によるイメージ向上、輸入規制撤廃に向けた取組を推進

【第三者認証GAP等取得促進事業（299,894千円）】
産地における安全性確保の取組を客観的に説明できる第三者認証GAP等の導入を推進

【ふくしま‘食の基本’推進事業（13,267千円）】
子どもやその保護者が豊かで健康的な食生活を実践するため、食育や地産地消に関する活動を行う団体等を支援

【「ふくしまならではの花き」産地育成支援事業（25,844千円）】
県産花きの地域内利用の促進及びオリジナル品種の改植及び新植を推進

【福島県産水産物競争力強化支援事業（565,000千円）】
水産物の競争力を高め、販路拡大を図るため、流通量拡大の実証や新商品開発を推進

戦略的な生産活動の展開 農林水産物の生産振興、産地の生産力・競争力の強化

【（新）飼料価格高騰対策事業（1,222,745千円）】
飼料価格の高止まりの影響を受けている畜産農家の経営安定を図るため、飼料上昇分の一部を支援

【（新）ふくしまならではの畑作物産地づくり推進事業（86,694千円）】
持続的な畑作物生産・供給に係るモデル地区を設定し成果を全県的に波及させるとともに、作付拡大を支援

【（新）ふくしまならではの自給飼料増産推進事業（54,387千円）】
子実用とうもろこしの栽培実証等とともに、畑地における牧草・青刈りとうもろこしの作付拡大の推進

【園芸生産拠点育成支援事業（314,280千円）】
担い手育成・販売額向上等の地域のモデルとなる生産拠点の育成を支援

【県育成オリジナル品種活用産地づくり支援事業（117,474千円）】
県育成いちごの生産拡大・PR等を一貫して実施

【オリジナルふくしま水田農業推進事業（33,628千円）】
「福、笑い」を始めとする県産米の食味と品質向上等や県産酒造好適米を原料とした酒造り等産地の取組を支援

【みんなでチャレンジ！環境保全型農業拡大事業（58,500千円）】
環境保全型農業の新規取組者の確保や取組拡大を目的に技術指導や優良技術の表彰、地域ぐるみの取組の支援等を実施

【「福島牛」AI肥育確立事業（173,199千円）】
「福島牛」ブランド力強化のため、AIを活用した肉質評価システムを整備するとともに、優良素牛の導入を支援

活力と魅力ある農山漁村の創生 農林水産業・農山漁村の多面的機能の維持・発揮、快適な農山漁村づくり、地域資源を活用した取組促進

【ふくしまの元気を創る地域産業6次化推進事業（81,261千円）】
地域資源を生かしたビジネスモデルの創出など、地域産業6次化の取組を支援

【みんなでつなぐ誇れる中山間地域等農業推進事業（12,745千円）】
地域農業の将来ビジョンづくり及び関係人口の創出・交流等を通じた地域農業の活性化に資する取組を支援

【鳥獣被害対策強化事業（129,549千円）】
被害軽減のための有害鳥獣捕獲を促進するとともに、被害対策を先導する市町村リーダー育成を支援

【多面的機能支払事業 他（4,032,754千円）】
農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮のため、農業者等が共同で取り組む地域活動を支援

【ため池等整備事業 他（1,098,493千円）】
老朽化対策及び地震・豪雨耐性の向上が必要な防災重点農業用ため池の改修工事及び廃止工事を実施

【森林とのきずな事業（13,011千円）】
県民に向けた森林情報の発信、森林認証制度の普及推進及び取得支援、大学生等の森林に関する自己学習の支援を実施

【治山事業 他（2,680,096千円）】
山地災害から県民の生命・財産を保全するため、荒廃林地の復旧や地すべり防止等の治山事業を実施